

夢をかたちに

令和 5 年度
出水商業高等学校
進路指導部
進路便り
No. 3 2023.6.30

いよいよ 7 月 1 日から企業の求人票受付が始まります。3 年生の就職希望の生徒は、求人票が来る前に、タブレットで過去の求人票などを参考にして、7 月 7 日（金）の第 1 回目の公開に備えましょう。高校生の就職試験は、9 月 16 日から採用選考が開始されます。夏休みから真剣に取り組み、準備をする必要があります。1・2 年生は、1・2 年後には今の 3 年生と同じ状況になります。3 年生になってから慌てることのないように、今できることを精一杯取り組みましょう。

Q：就職活動のスケジュールは？

A：全国で統一したルールが決められています。**9 月 16 日**以降に就職選考が行われます。9 月 5 日から応募書類の受付が始まりますので、本校では**8 月下旬**にはすべての書類を揃えて担任の先生に提出するようになっています。2 学期は体育祭や練習、情報処理検定の勉強など忙しく日々が過ぎていきますので優先順位を間違えないようにしてください。計画的に物事を進めていきましょう。

Q：進学か就職か、迷っています・・・

A：下にメリット・デメリットをまとめましたので、参考にしてください。

	就 職	進 学
メリット	○いち早く社会人経験を積める。 ○10代からお金を稼げる。 ○手厚い教育を受けやすい。 ○専門職でなければ就職がスムーズ。	○選択肢が増える。 ○将来について考える時間が持てる。 ○生涯賃金が増す可能性がある。
デメリット	△一部の職業には就けない。 △大卒と生涯賃金に差がある。 △現場職にまわされやすい。	△学費がかなりかかる。 △専門外分野への就職が不利な場合がある。 △高卒よりも社会人スタートが遅れる。

I 6月30日（金）3 学年 PTA

進路に関する大事な PTA です。就職先、進学先が決定するまでのイメージを描きましょう。

II 7月7日（金）求人票第 1 回公開

III 7月21日（金）～8月2日（水）三者面談

納得のいく進路決定を。就職の場合は、三者面談が始まるまでに、数社にしぼっておきましょう。保護者とも話をしておくこと。

IV 8月3日（木）校内選考会（進学総合型選抜）

8月18日（金）～22日（火）校内選考会（就職・進学）

どんな質問にも答えられるように、求人票や学校パンフレットは隅々まで目を通して覚えておきましょう。毎年、様々なドラマが生まれています。自分の人生を決める大事な選考会です。本番の就職・入学試験のつもりで、準備を万端にして臨みましょう！！

面接練習に試験勉強と、3 年生に夏休みはありません！！自己 PR や志望理由は、自分の言葉で、基本を作って、面接練習を重ねましょう。



*Google Classroom の『未来へ翔く』にも先輩たちの体験談が載っています。また、進路室には過去の受験報告書がありますので、自分で情報収集しましょう。

志望理由書・小論文ガイダンス

5月31日（水）6時間目に3年生全員を対象として「志望理由書ガイダンス」が行われました。放課後には大学・短大希望者に対して「小論文ガイダンス」が行われました。3年ぶりに講師の先生を招いて直接お話をいただく機会が得られました。生徒の皆さんも今後の進路活動に向けて、多くのアドバイスをいただいたことでしょう。



卒業生体験発表会

6月9日（金）に「卒業生体験発表会」が行われました。今年度は全校生徒が体育館で先輩方の発表を聞くことができました。令和3年度の卒業生6名が、仕事や学業の合間をぬって駆けつけてくれました。先輩方からは高校時代の自分の体験を踏まえ、現在の活動の様子など、アドバイスも含め貴重な話をたくさんいただきました。

以下は、生徒の感想文の抜粋です。

- ・6人の先輩方はそれぞれ違う進路を選択していますが、進学した人も就職した人も、やりがいを感じながら過ごしていると楽しそうに話されていた姿が印象的でした。
- ・「先生方に積極的にアポを取り面接練習をたくさんする」「今のトレンドを知る」「発言の内容は単語で覚える」など小論文や面接に向けての対策についてアドバイスをいただきました。
- ・大学に合格することをゴールとして見ず、その後の更に未来のことまで視野を広げるよう意識を変えたいと思いました。
- ・報連相をしっかりとできるよう、これから気をつけたい。また、無理なことはあきらめ、課題を見つけて改善すればよいのだといわれ、気が少し楽になった。



校内進路ガイダンス

6月12日（月）2・3年生を対象に「校内進路ガイダンス」が行われました。進学希望者には大学や専門学校の先生方を招いた学校説明会や進学講演会、就職希望者には模擬面接や公務員講座などを実施しました。進路に向けて意識を高めるとともに、皆さんの不安を解消できる機会になったのではと思っています。

